

## 令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果(国語)

## 【問題の概要と正答率】

問題番号	問題の概要	正答率
1一	インタビューの前に準備したメモについて説明したものとして適切なものを選択する	93.8
1二	インターネットの記事を読んで気付いた点として適切なものを選択する	85.0
1三	相手の話を受けて発した質問について、述べ方の工夫とその意図を説明したものとして適切なものを選択する	96.3
1四	インタビューのまとめとしてどのようなことを述べるのか、自分の考えを書く	100.0
2一	「落胆する」の意味として適切なものを選択する	98.8
2二	二つの文章に共通する表現の効果を説明したものとして適切なものを選択する	96.3
2三	それぞれの文章で述べられている「読書の楽しみ」として適切なものを選択する	97.5
2四	自分がこれからどのように本を読んでいきたいかについて、読んだ文章を参考にして、知識や経験に触れながら書く	93.8
3一	レポートの下書きの一部について、文の一部を直す意図として適切なものを選択する	86.3
3二	漢字を書く(おし量って)	76.3
3三	「『判じ絵』とは何か」と見出しを付けた部分について、内容のまとまりで文章が二つに分かれる箇所を選択し、後半のまとまりに付ける見出しを書く	95.0
3四	「『判じ絵』の解説の面白さ」と見出しを付けた部分に具体例として示す「判じ絵」を選択し、その解説の仕方を書く	95.0
4一	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(いひける)	95.0
4二	原文の中の語句に対応する言葉を現代語で書かれた文章から抜き出す(いと)	98.8
4三	現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く	90.0

## 【調査結果の分析と今後の改善方策】

<p>【分析】</p> <p>目的に沿って自分の考えを書く記述問題の正答率が100%であった。伝えなければならないことを的確に、分かりやすく表現する力があると考えられる。また、言葉の意味を答えたり歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直したりする基礎知識があると考えられる。一方で、文章中の情報と情報の関係を読み取る、文章を推敲し整えるといった問題の正答率が低かった。情報一つ一つは理解することができるが、その関係を考えたうえで適切につなげたり、適切に書き直したりすることができなかった。</p> <p>【今後の改善方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読解力を伸ばすという点から、文章の要旨や筆者の主張をまとめる活動を行う。</li> <li>・情景描写や登場人物の言動表現などに注目して読み、心情把握や作者の意図、主題などについて深く考える。</li> <li>・自分の考えを相手に伝えるように、かつ簡潔にまとめる活動を行う。</li> <li>・定期的に漢字や文法などの確認を行い、基礎的知識の定着を図る。</li> </ul>
--

## 令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果(数学)

### 【問題の概要と正答率】

問題番号	問題の概要	正答率
1	-5、0、3、4、7、9の中から自然数を全て選ぶ	81.3
2	$12(x/4 + y/6)$ を計算する	98.8
3	空間における平面が1つに決まる場合について、正しい記述を選ぶ	76.3
4	yがxに反比例し、比例定数が3のとき、xの値とそれに対応するyの値について、正しい記述を選ぶ	82.5
5	女子50m自由形の記録の、最小の階級から29.00秒以上30.00秒未満の階級までの累積度数を求める	61.3
6(1)	はじめの数が11のとき、はじめの数にかけられる数が2、たす数が3のときの計算結果を求める	98.8
6(2)	はじめの数にかけられる数が2、たす数が6ならば、計算結果はいつでも3の倍数になることの説明を完成する	95.0
6(3)	はじめの数にかけられる数がいくつ、たす数がいくつであれば、計算結果はいつでも4の倍数になるかを説明する	88.8
7(1)	1961年～1975年の四分位範囲を求める	77.5
7(2)	「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができる理由を、箱ひげ図の箱に着目して説明する	86.3
8(1)	晴天大学が駅前を通過した時間と新緑大学が駅前を通過した時間の差について、グラフのどの2点のx座標の差として表れるかを書く	100.0
8(2)	二人の選手のグラフが直線で表されていることの前提となっている事柄を選ぶ	95.0
8(3)	グラフや式を用いて、新緑大学の選手が晴天大学の選手に追いつくのが、6区のスタート地点からおよそ何mの地点になるかを求める方法を説明する	75.0
9(1)	2つの直線BCと直線AEが平行であることを、三角形の合同を基にして、同位角又は錯角が等しいことを示すことで証明する	81.3
9(2)	二等辺三角形でない2つの合同な三角形のときに平行線がかけないことについて、二等辺三角形のときの証明の中から成り立たなくなる式を書く	82.5

### 【調査結果の分析と今後の改善方策】

<p><b>【分析】</b>                      全国平均との比較や、校内平均正答率と正答数集計値の第一四分位数にほぼ差がないことなどから、全体的に学習内容が定着していると考えられる。一方で、今後の課題として、基本的な知識・技能の確実な定着と数学的に説明する力のさらなる育成があげられる。問7(1)の「四分位範囲」を求める問題や、問5の「累積度数」を求める問題が全国と比べて正答率が低い。新型コロナウイルスによる休校及び分散登校の時期に主に家庭で学習した内容であり、用語の意味理解が不十分であると考えられる。しかし、問7(2)の「箱ひげ図の四分位範囲に着目して説明する」問題は全国に比べて正答率が高かった。四分位範囲を正確に求めることはできないが、用語の意味を理解し、データの傾向を読みとることはできる生徒が多いとわかる。問8(3)の「問題解決の方法を説明する問題」もまた、低い正答率となった。「説明する問題」の正答率は全国正答率に比べて高い水準にあるが、この問題では自身が選択した用いるものを「どのように用いるか」の説明が不十分であった解答が多かった。</p> <p><b>【今後の改善方策】</b>                      ・用語の定義を明確にし、自身や仲間の数学的表現を見直し修正する機会を設けることで、確実な定着を図る。                      ・方法の説明においては、「用いるもの」と「用い方」を明確にして表現するよう指導する。</p>
--

## 令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果(英語)

### 【問題の概要と正答率】

問題番号	問題の概要	正答率
1 (1)	ある状況を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	100.0
1 (2)	道案内の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	93.8
1 (3)	買物の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	95.0
2	忘れ物に関する情報を得るために自動音声案内を聞き、最も適切な番号を選択する	97.5
3	バーベキューパーティーについての説明を聞き、質問の答えとして最も適切なものを選択する	90.0
4	水問題についての話を聞き、話し手の最も伝えたい内容を選択する	78.8
5 (1)	ある状況を描写する英文を読み、その内容を最も適切に表しているグラフを選択する	96.3
5 (2)	事実や考えが書かれた英文を読み、考えを表している英文を選択する	90.0
6	友達からのメールを読み、相手が示した条件に合うイベントとして最も適切なものを選択する	82.5
7 (1)	図書館について書かれた英文を読み、文中の空所に入る適切な語句を選択する	93.8
7 (2)	図書館について書かれた英文を読み、その概要として最も適切なものを選択する	65.0
8 (1)	ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の最も伝えたい内容を選択する	91.3
8 (2)	ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く	53.8
9 (1) ①	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる	90.0
9 (1) ②	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる	77.5
9 (2)	メールの英文を依頼する表現に書き換える	75.0
10	学校生活(行事や部活動など)の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く	42.5

### 【調査結果の分析と今後の改善方策】

<p><b>【分析】</b>                      本校には英語を得意とする生徒が多い一方で、標準偏差が本校の他教科と比べてわずかに大きいことから、得意とする生徒と不得意とする生徒の学力差が大きいことが分かる。4技能5領域のうち、特に「書くこと」の力が高い。基本的な知識・技能を問う英文完成や書き替えについては正答率が大変高かったことから、基本事項は定着している生徒が多いことがわかる。評価の観点から見ると、「知識・技能」と「思考・判断・表現」の力の差が、本校の他教科と比べて大きく開いている。また、「思考・判断・表現」においては、まとまった英語について要点をとらえたり、「事実」と「考え」を区別して理解する能力に課題が見られる。「話すこと」については、全国平均と比較してもよくできていた。一方、社会的な話題(レジ袋の是非)に関して、自らの意見をまとめて述べる問題が、他の問題と比較して特に正答率が低かった。</p> <p><b>【今後の改善方策】</b>                      ・学力差に対応できるよう、少人数講座で個々の学力に応じた個別指導を行う。                      ・英文の要点を自分の言葉でまとめて他者に伝える活動や、自分の考えを英語で論理的に述べるような活動を通して、「思考・判断・表現」の力を伸ばす。</p>
--